

環境政策・計画学科

1. 受賞

松本健一(2015)特別表彰, 滋賀県立大学.

2. 著書

小野奈々(2016)統合的管理をめぐる農家の認識と変遷, 窪田順平編著『水を分かち』勉誠出版, pp.59-85.

朴恵淑編著(2016)亀山学, 香川雄一「交通と産業の発展から見た亀山の歴史」, 風媒社, pp.22-35.

琵琶湖と環境編集委員会編(2015)琵琶湖と環境 未来につなぐ自然と人との共生, 香川雄一「沿岸漁業の現在」サンライズ出版, pp.208-217.

琵琶湖と環境編集委員会編(2015)琵琶湖と環境 高橋卓也「琵琶湖を守る森林とフォレスト」サンライズ出版, pp.137-143.

窪田順平編(2016)水を分かち—地域の未来可能性の共創—, 平山奈央子「水路下流の水不足と水管理に関わるコミュニケーションの実態」, 勉誠出版, pp.87-103.

琵琶湖と環境編集委員会編(2015)琵琶湖と環境—未来につなぐ自然と人との共生—. 平山奈央子「琵琶湖の変化—総合保全計画」サンライズ出版, pp.362-365.

Matsumoto, K. and Gao, A.M.Z.(eds.) (2015) Economic Instruments to Combat Climate Change in Asian Countries. Kluwer Law International, Alphen aan den Rijn, 212p

Lee, S., Pollitt, H., and Park, S.(eds.) (2015) Low-carbon, Sustainable Future in East Asia. Lee, S., Liu, X., Matsumoto, K., Na, S., and Chen, L. “Energy Systems and Environmental Policy in East Asia”; Ogawa, Y., Mercure, J.F., Lee, S., Pollitt, H., Matsumoto, K., and Chiashi, A. “Modeling the Power Sector in East Asia : Economic and Environmental Impacts of the Choices of Power Sources”; Matsumoto, K. “Energy Structure and Energy Security under Climate Mitigation Scenarios in East Asia” . Routledge, London.

Leal, W.(ed.) (2015) Handbook of Climate Change Adaptation. Morita, K. and Matsumoto, K. “Enhancing Biodiversity Co-benefits of Adaptation to Climate Change”; Morita, K. and Matsumoto, K. “Financing Adaptation to Climate Change in Developing Countries” . Springer, Berlin.

金原達夫・村上一真(2015)環境経営のグローバル展開：海外事業およびサプライチェーンへの移転・普及のメカニズム, 白桃書房, p240.

3. 論文

岩見麻子, 宮下知己, 井手慎司(2015)大規模パブリックコメントの論点把握に対するテキストマイニングの有用性の検討. 土木学会論文集G(環境) 71(6) : II_13-II_21.

岩見麻子, 木村道徳, 井手慎司(2015)大規模パブリックコメントの主題に対する態度の把握に関する基礎的研究. 環境情報科学論文集29 : 315-320.

Ono, N.(2015)Obstacle Factors of Making Access to Social Care in Local Communities : A Case Study of Setting Up Welfare Committee in Hikone-City, Japan, Proceedings of International Society For Third-Sector Research 9th Asia Pacific Regional Conference, p.163.

小野奈々(2015)環境ガバナンスにおける環境正義の問題点—アフリカ系ブラジル人の鉱山コミュニティに対する環境保全と開発支援の事例研究—, 環境社会学研究 第12号 : pp.74-89.

浅野敏久・金料哲・伊藤達也・平井幸弘・香川雄一・フンク・カロリン(2015)ラムサール条約湿地に対するイメージの日韓差—韓国の厳しい湿地保護制度が受容される背景—, 地理科学70-2 : 60-76.

石田みづき, 金谷健(2015)外国人によるごみ排出問題行動の現状把握と自治体による情報提供に関する提案, 都市清掃, 69 (330) : 187-198.

上河原献二(2015)外来生物法制度はどのように成立したか?—ガイドライン, 認識共同体, 学習, 環境情報科学 学術研究論文集29 : 345-350.

川崎詩歩・上河原献二(2015)動物園による自然保護活動とその制度的課題に関するアンケート調査, ヒトと動物の関係学会誌41 : 58-63.

Masaki Sugita, Takuya Takahashi(2015)Influence of Corporate Culture on Environmental Management Performance : An Empirical Study of Japanese Firms, Corporate Social Responsibility and Environmental Management 22 (3) : 182-192.(Published online 24 September 2013 in Wiley Online Library)

安藤哲城, 中村公人, 川島茂人, 皆川明子, 平山奈央子, 小野奈々, 秋山道雄, 橋本慧子(2015)水田地域における水不足の要因に関する検討—愛知川扇状地を事例として—, 第72回農業農村工学会京都支部研究発表会講演要旨集, pp.92-93.

Matsumoto, K.(2015)Energy Structure and

- Energy Security under Climate Mitigation Scenarios in China. PLoS ONE 10 (12), e0144884.
- Morita, K. and Matsumoto, K. (2015) Synergy Potential among Climate Change Mitigation, Adaptation, and Biodiversity and Ecosystem Conservation in the Forest Sector. Journal of Environmental Indicators 9, 46 – 47.
- Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2015) Evaluating Multiple Emission Pathways for a Fixed Cumulative CO₂ Emission from Socioeconomic Perspectives. USAEE/IAEE Working Paper Series 15-221.
- Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M. (2015) Evaluating Multiple Emission Pathways for Fixed Cumulative CO₂ Emissions from Socioeconomic Perspectives. Proceedings of IAEE International Conference 2015.
- 金原達夫・村上一真 (2015) 環境経営の国際移転に関する基礎的考察, 修道商学, 56 (1), 47-72.
- 金原達夫・村上一真 (2015) CSRは環境経営移転を促進するのか?, 修道商学, 56 (1), 119-138.
- 小松郁也・村上一真 (2015) 住民の河川保全活動への参加と継続の要因に関する構造分析: アダプト・プログラムに着目して, 土木学会論文集G(環境), 71 (5), I_347-I_355.
- 寺村友里・村上一真 (2015) 大学生の環境配慮行動の規定因の分析: 大学内の環境への取り組みに着目して, 土木学会論文集G(環境), 71 (5), I_337-I_345.
- Murakami, K. and Kimbara, T. (2015) Does CSR Enhance the Transfer of Environmental Practices to Overseas Subsidiaries?, Journal of Business Administration Research, 4 (2), 1-8.
- 和田有朗 (2015) 太陽光発電の普及に向けた消費者の意識と行動の乖離の考察, 神戸山手大学紀要, 第17号, pp.145-155.
- Wada, N. (2016) Environmental Load Reduction Effects of Changed Bicycle User Attitudes, Journal of Environmental Information Science, Vol.44, No.5, pp.31-38.
4. 作品
なし
5. 報告書、その他著作、一般向け記事
1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書
小野奈々 (2016) 第IV章 「愛知川沿岸の農業用水の管理・配水調整における課題と社会的工夫の可能性」, 総合地球環境学研究所 愛知川研究プロジェクト班編, 総合地球環境学研究所プロジェクト「統合的水資源管理のための「水土の知」を設える」(プロジェクトリーダー: 窪田順平), 2010年~2015年, 統合的水資源管理のための「水土の知」を設えるー愛知川の章ー.
- 平山奈央子 (2016) 第III章 「水管理や水不足の実態に関するアンケート調査」, 窪田順平(研究代表者), 2010年度~2015年度, 総合地球環境学研究所プロジェクト「統合的水資源管理のための「水土の知」を設える」.
- 2) 受託研究等の報告書
松本健一 (2015) 経済モデルによる気候安定化目標に向けた社会経済シナリオの構築, 海洋研究開発機構編, 気候変動リスク情報創生プログラム「安定化目標値設定に資する気候変動予測及び気候変動研究の推進・連携体制の構築」平成26年度研究成果報告書: 84-88.
- 村上一真 (2015) 共同研究, 平成27年度報告書, 「滋賀県産業振興ビジョン」にかかるモニタリングのための指標および手法等の研究.
- 3) ハンドブック, 辞典, 図鑑などへの執筆
なし
- 4) 新聞, 一般向け雑誌等への解説記事など
香川雄一 (2015) 大津市における公共下水道事業の実態と課題, しがの住民と自治285: pp.2-13.
- 金谷健 (2015) 水銀廃棄物への自治体の取り組み, 「水銀条約シンポジウムin高槻「水銀条約をふまえた水銀廃棄物対策について」報告書(平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成事業)」, 15-19. (2015年10月31日発行; 特定非営利法人コンシューマーズ京都).
- 金谷健 (2015) ごみ処理の実情と課題, くらしと協同, 15: 33-37. (2015年12月25日発行; くらしと協同研究所).
- 金谷健 (2015) 水銀条約に関する水俣条約と廃棄物対策, 「水銀条約セミナー in草津2015「みんなで考えよう水銀条約と有害廃棄物」報告書(平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金助成事業)」, 4-15. (2015年12月28日発行; 特定非営利法人コンシューマーズ京都).
- 高橋卓也 (2015) (書評) 斎藤修著, 環境の経済史ー森林・市場・国家ー, 岩波書店, 2014年6月, 林業経済 68 (3), 22-26, 2015年6月20日.

松本健一(2015)カナダ・ウィンザーで見たもの。滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科コラム(2015年8月12日)。

Matsumoto, K.(2015)Energy toward 2030 in Japan. RCEM: Views on Energy News. <http://www.rcem.eu/posts/2015/may/21/energy-toward-2030-in-japan.aspx>(2015年5月21日)。

6. 学会等への発表

Ono, N.(2015)Obstacle Factors of Making Access to Social Care in Local Communities: A Case Study of Setting Up Welfare Committee in Hikone-City, Japan, International Society For Third-Sector Research 9th Asia Pacific Regional Conference, Tokyo, Japan(2015年8月26日～28日)。

香川雄一・田中慎(2015)滋賀県甲賀市甲賀町岩室地区における耕作放棄地の発生とその要因, 地理科学学会大会, 東広島市, 2015年5月30日。

香川雄一・山本未悠(2015)大津市における公共下水道事業を対象としたGISによる維持管理方法, 人文地理学会大会, 豊中市, 2015年11月15日。

上河原献二(2015)外来生物管理制度と琵琶湖沿岸の外来水草問題, 水資源・環境学会2015年度研究大会, 茨木市, 2015年6月6日。

Takuya Takahashi, Koji Matsushita(2015)How did policy intervention work out for commons forests in Japan? An analysis of time-series prefectural data, 15th Global Conference of the International Association for the Study of the Commons, Edmonton, Canada, 2015-5-27。

高橋卓也, 酒井美知(2016)森林環境税及び活用事業の各県における認知度に関する研究—どうすればもっと知ってもらえるのだろうか?—, 第127回日本森林学会, 日本大学生物資源学部, 神奈川県藤沢市(2016年3月27日～3月30日)。

Tachiiri, K., Matsumoto, K. and Silva, D.H.(2016) Investigating climate stabilization scenarios using ESM, EMIC, and IAMs: an introduction of our activity in Program for Risk Information on Climate Change. CESM Joint Societal Dimensions and Land Model Working Group Meeting: Boulder, US(2016年2月9～10日)。

松本健一(2016)日本におけるエネルギー安全保障パフォーマンスの変化。第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス: 砂防会館(2016年2月2～3日)。

立入郁・羽島知洋・松本健一・Diego Silva Herran・

渡辺真吾・河宮未知生(2016)地球システムモデルと土地利用の取扱い～社会経済モデルとの連携に向けて。第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス: 砂防会館(2016年2月2～3日)。

Silva, D., Tachiiri, K., and Matsumoto, K.(2015) Energy Consumption under RCP4.5 Mitigation Scenario Using Economic Models. Poster Session. 2015 Fall Meeting of Meteorological Society of Japan: Kyoto Terrsa, Japan(2015年10月28～30日)。

Morita, K. and Matsumoto, K.(2015)Synergy Potential among Climate Change Mitigation, Adaptation, and Biodiversity and Ecosystem Conservation in the Forest Sector. 21st International Conference on Environmental Indicators: Windsor, Canada(2015年8月3～5日)。

松本健一(2015)気候変動対策とエネルギー安全保障: 日本を対象として。第34回エネルギー・資源学会研究発表会: 砂防会館(2015年6月9～10日)。

Matsumoto, K., Tachiiri, K., and Kawamiya, M.(2015)Evaluating Multiple Emission Pathways for Fixed Cumulative CO₂ Emissions from Socioeconomic Perspectives IAEE International Conference 2015: Antalya, Turkey(2015年5月25～27日)。

小松郁也・村上一真(2015)住民の河川保全活動への参加と継続の要因に関する構造分析: アダプト・プログラムに着目して, 第23回地球環境シンポジウム, 北海道大学(2015年9月3～5日)。

寺村友里・村上一真(2015)大学生の環境配慮行動の規定因の分析: 大学内の環境への取り組みに着目して, 第23回地球環境シンポジウム, 北海道大学(2015年9月3～5日)。

7. 研究会等、講演会、特別講義での発表

1) 研究会等における発表

小野奈々(2015)節水をめざす効率的な水利用のための社会的な対策—愛知川沿岸地域を対象地として—, C-09-Init 水土の知プロジェクト 2015年度全体研究会, 総合地球環境学研究所(京都市), 2015年10月28日。

平山奈央子(2015)地域住民と河川管理者の連携・協働手法について—琵琶湖河川レンジャーの取り組み—, 水研究会, 京都大学, 2015年12月5日。

平山奈央子(2015)ダム開発後の参加型農業用水管理: インドネシアピリビリダムを対象に, 滋賀県立大学環境科学セミナー, 環境科学部会議室,

2015年9月17日.

Matsumoto, K.(2015) Cumulative Carbon Emissions, and economy and energy. Research Institute for the Environment and Trade (RIET) Workshop : Waseda University, Japan (2015年7月10日).

村上一真(2016)環境・エネルギー (バイオマス利用資源エネルギー), 「甲賀の森林再生」 策定研究会第2回ワークショップ, 甲賀市, 2016年2月12日.

2) 講演会

香川雄一(2015)滋賀県立大学におけるGIS教育とその成果, ArcGIS 最新情報セミナー 2015 京都会場, メルパルク京都, 2015年11月18日.

金谷健(2015)水銀廃棄物への自治体の取り組み, 「水銀条約シンポジウムin高槻「水銀条約をふまえた水銀廃棄物対策について」, 特定非営利法人コンシューマーズ京都, 高槻商工会議所, 2015年8月25日.

金谷健(2015)水銀条約に関する水俣条約と廃棄物対策. 「水銀条約セミナー in草津2015「みんなで考えよう水銀条約と有害廃棄物」, 特定非営利法人コンシューマーズ京都, 草津市立市民交流プラザ, 2015年11月24日.

高橋卓也(2015)山村文化を育む森林資源のあれこれと本日のふりかえり, 森のしごとびと育成事業全体研修会(第2回), 多賀町高取山ふれあい公園(滋賀県多賀町), 2015年10月21日.

高橋卓也(2015)意見交換コーディネーター, ドイツ・フォレストシンポジウム, ヤンマーミュージアム, 長浜市, 2015年10月22日.

高橋卓也(2015)グリーン購入フォーラム 2015 in 滋賀～地域からエネルギーの未来を創る～, パエルディスカッション・コーディネーター, 滋賀グリーン購入ネットワーク, 長浜バイオ大学, 長浜市, 2015年10月23日.

高橋卓也(2015)生物多様性分野のCSRに期待すること, 滋賀グリーン購入ネットワーク, 生物多様性と環境・CSR研究会, コラボしが21, 大津市, 2015年12月7日.

松本健一(2015)気候変動対策下でのエネルギー安全保障: CGEモデルを用いた分析. 東アジアの持続可能な低炭素経済に向けてーエネルギーシステム、エネルギー税制、政策協調のあり方ー: 名古屋大学(2015年9月17日).

村上一真(2015)地域経済の分析について, 商工観光労働部・労働委員会事務職合同部門研修会(一般研修), 滋賀県教育会館, 2015年11月26日.

3) 授業

金谷健(2015)産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬/処分課程講習会での講義(更新講習会: 中間処理・再生利用), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, 広島県情報プラザ(2015年6月18日), 京都JA会館(2015年7月3日), 四日市商工会議所(2015年10月23日), 大阪私学会館(2016年3月3日).

金谷健(2015)産業廃棄物の収集・運搬/処分課程講習会での講義(新規講習会: 計測管理), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, 兵庫県中央労働センター, 2015年8月27日.

金谷健(2015)産業廃棄物の収集・運搬課程での講義(新規講習会: 環境概論), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, 広島県情報プラザ, 2016年1月28日.

上河原献二(2015)地球温暖化とその対策(出前講義), 滋賀県立水口東高等学校, 甲賀市, 2015年7月13日.

高橋卓也(2015)私達の買い物と世界の森林・日本の森林, 水口東高等学校第1学年「甲賀探究」, 滋賀県甲賀市, 2015年9月14日.

Takuya Takahashi(2015)Forest management challenges in Japan and Indonesia, International Environmental Management lecture, Bogor Agricultural University, Bogor, Indonesia, 2015-9-25.

高橋卓也(2015)近江商人再生プロジェクト事後研修会・コメンテーター, 八幡商業高等学校, 滋賀県近江八幡市, 2015年11月7日.

林宰司(2015)スーパーグローバルハイスクール事業(ゼミ指導), 岐阜県立大垣北高等学校, 岐阜県大垣市, 2015年7月22日, 9月9日.

林宰司(2015)貿易と環境～公害輸出について考える(講義), 滋賀県立水口高等学校, 於:滋賀県立大学, 2015年8月11日.

平山奈央子(2015)環境を考える, 滋賀短期大学, 滋賀短期大学, 2015年5月28日, 6月4日, 6月25日, 7月2日, 7月23日.

松本健一(2015)地球環境問題とその対策を考える. 高大連携講義, 桃山学院高校(2015年7月14日).

8. 展覧会等

なし

9. 競争的研究資金の導入

1) 本学特別研究

なし

2) 科学研究費補助金

小野奈々 (2015) 環境保全におけるパートナーシップの発展論の環境社会学的研究, 平成26～29年度, 104万円.

浅野敏久, 伊藤達也, 金料哲, 平井幸弘, 香川雄一. 湿地のワイズユース再考ーグリーン経済化の流れとその問題点一, 基盤研究(B), 平成25～27年度, 60万円.

山崎孝史, 香川雄一, 北川眞也, 飛奈裕美, 畠山輝雄, 二村太郎, 前田洋介, 岩下明裕, 崎浜靖, 福本拓. グローバル化の新局面における政治空間の変容と新しいガバナンスへの展望, 基盤研究(B), 平成27～29年度, 50万円.

高橋卓也, 奥村進, 香川雄一 (2015) 環境保全, 多様な選好, 長期の時間軸の3要素を統合する市町村森林計画手法の開発, 平成24年度～27年度, 基盤研究(C), 42万円.

高橋卓也, 松下幸司, 栗山浩一, 田中勝也, 宮崎淳 (2015) 社会が支える森林管理を実現する手法開発のための基礎研究, 平成27年度～30年度, 基盤研究(B), 377万円.

林宰司 (2015) 日中間再生資源貿易・リサイクル産業の環境経済分析, 平成24～27年度, 1976千円.

松本健一. 応用一般均衡モデルを基礎とした気候変動・エネルギー問題の安全保障の観点からの評価, 若手研究(B), 平成27～29年度, 169万円.

羅星仁, 松本健一. クリーン開発メカニズムの経験に基づく国際協力による温暖化対策の環境経済影響評価, 基盤研究(C), 平成27～29年度, 182万円.

李秀澈, 松本健一, 他. 東アジアの持続可能な発展のためのエネルギー・環境財政のグリーン改革, 基盤研究(A), 平成25～28年度, 897万円.

村上一真. 家庭での節電行動の意思決定および節電効果に影響を与える要因解明の実証研究, 若手研究(B), 平成25～27年度, 70万円.

3) 政府および地方公共団体(関連法人を含む)からの補助金

河宮未知生, 松本健一, 他70名. 安定化目標値設定に資する気候変動予測, 文部科学省気候変動リスク情報創生プログラム, 平成24～28年度, 13282万円/年.

4) その他財団からの研究補助金

なし

5) 受託研究の受け入れ

松本健一 安定化目標値設定に資する気候変動予測, 海洋研究開発機構受託研究, 平成27年度, 243万円.

村上一真 「滋賀県産業振興ビジョン」にかかるモニタリングのための指標および手法等の研究, 共同研究, 平成27年度, 30万円.

永井拓生・村上一真・高橋卓也. 持続可能な林業振興と健全な森林整備, 大学地域連携課題解決支援事業2015, 10万円.

10. 研究員の受入

なし

11. 特許、実用新案、品種登録、意匠、その他著作権に関わる事項

なし

12. 社会への貢献

1) 各種委員会

井手慎司 (2015) 滋賀県琵琶湖レジャー利用適正化審議会 会長, 滋賀県琵琶湖政策課, 4回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) 滋賀県学術フォーラム 委員, 滋賀県琵琶湖政策課, 1回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) マザーレイクフォーラム運営委員会 委員, 滋賀県琵琶湖政策課, 15回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) 赤野井湾流域流出対策推進連絡会 会長, 滋賀県琵琶湖政策課, 1回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) 滋賀県環境学習推進協議会 委員, 滋賀県環境政策課, 4回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) 滋賀県環境こだわり農業審議会 会長, 滋賀県食のブランド推進課, 3回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) 滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会 委員, 滋賀県教育委員会事務局学校教育課, 3回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) 近江八幡市環境審議会 会長, 近江八幡市環境課, 2回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) 国際湖沼環境委員会評議員会 評議員, 国際湖沼環境委員会, 3回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) 淡海文化振興財団理事会 理事, 淡海文化振興財団, 2回(2015年4月～2016年3月)

井手慎司 (2015) 未来ファンドおうち運営委員会 委員長, 淡海文化振興財団, 6回(2015年4月～2016年3月)

- 井手慎司(2015)淡海環境保全財団評議会 評議員, 淡海環境保全財団, 2回(2015年4月～2016年3月)
- 井手慎司(2015)NPO法人 子どもと川とまちのフォーラム理事会 副理事長, 子どもと川とまちのフォーラム, 10回(2015年4月～2016年3月)
- 小野奈々(2015)淡海の川づくり検討委員会(滋賀県河川整備計画検討委員会)委員, 滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室, 3回(2013年12月5日から2015年12月4日まで).
- 小野奈々(2015)社会福祉法人滋賀県共同募金会評議員, 3回(2015年6月5日から2015年10月1日まで).
- 香川雄一(2015)東京大学空間情報科学研究センター, 客員研究員, 1回
- 香川雄一(2015)近江八幡市環境審議会, 委員(副会長), 2回
- 香川雄一(2015)近江八幡市環境計画評価部会, 委員(部会長), 3回
- 香川雄一(2015)近江八幡市風景づくり委員会, 委員, 1回
- 香川雄一(2015)大津市環境審議会, 委員, 1回
- 香川雄一(2015)地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会, 委員, 2回
- 金谷健(2015) 滋賀県環境審議会(廃棄物部会, 水・土壌, 大気部会, 温暖化対策部会, 環境企画部会), 委員・廃棄物部会長, 5回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)「クリーンセンター滋賀」環境監視委員会, 委員長, 2回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)「買い物ごみ減量推進フォーラムしが」全体会議, 学識経験者, 3回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)彦根市廃棄物減量等推進審議会, 会長, 3回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)彦根市水道事業評価委員会, 副委員長, 2回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)草津市廃棄物減量等推進審議会, 委員, 2回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)米原市コンポストセンター運営委員会, 会長, 1回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)野洲市廃棄物減量等推進審議会, 委員, 2回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)新野洲ククリーンセンター長期包括運営事業技術審査委員会, 委員, 5回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)湖北広域行政事務センター施設整備計画検討会, 委員長, 4回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)湖北広域行政事務センタークリスタルプラザ管理運営委員会, 委員長, 1回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)彦根愛知犬上地域ごみ処理施設建設候補地選定委員会, 委員長, 7回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)高槻市廃棄物減量等推進審議会, 会長, 1回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)三重県 産業廃棄物処理施設設置許可申請に係る共同調査会, 委員, 1回(2015年4月～2016年3月).
- 金谷健(2015)「次世代に受け継ぐ長寿命家具のニーズ把握のための調査・研究及びビジョン構築」調査研究事業委員会およびビジョン作成事業委員会, 委員, 一般社団法人ハウスオブツリー協会(所在地:枚方市), 8回(2015年4月～2016年3月).
- 上河原献二(2015)動植物園等公的機能推進方策のあり方検討会委員
- 高橋卓也(2015)NPO法人三方よし研究所, 理事, NPO法人三方よし研究所, 1回(2015年4月～2014年5月).
- 高橋卓也(2015)近江八幡市廃棄物削減等委員会, 副委員長, 委員, 近江八幡市, 2回(2015年4月～2016年3月).
- 高橋卓也(2015)滋賀グリーン購入ネットワーク, 副会長・理事・幹事, 滋賀グリーン購入ネットワーク, 4回(2015年4月～2016年3月).
- 高橋卓也(2015)多賀町地域再生協議会, 会長, 多賀町, 2回(2015年4月～2016年3月).
- 高橋卓也(2015)長浜市森林ディレクション審議会, 会長, 滋賀県, 2回(2015年4月～2016年3月).
- 高橋卓也(2015)栗東市公の施設指定管理者選定委員会, 委員長, 栗東市, 2回(2015年4月～2016年3月).
- 高橋卓也(2015)琵琶湖森林づくり県民税条例検討会, 委員, 滋賀県, 4回(2015年10月～2016年3月).
- 高橋卓也(2015)リサイクル認定製品懇話会, 委員, 滋賀県, 1回(2015年4月～2016年3月)
- 林宰司(2015)湖南省再生可能エネルギー発電による農山村活性化協議会委員 4回
- 平山奈央子(2015)淀川水系流域委員会 委員, 3回(2015年4月～2016年3月)
- 平山奈央子(2015)彦根愛知犬上地域ごみ処理施設建設候補地選定委員会 委員, 5回(2015年12月～2016年3月)
- 平山奈央子(2015)長浜市長浜市総合計画審議会 委員, 3回(2015年4月～2016年3月)

平山奈央子(2015)大津市廃棄物減量等推進審議会
副会長, 3回(2016年2月～2016年3月)
平山奈央子(2015)彦根市廃棄物減量等推進審議会
委員, 3回(2015年4月～2016年3月)
平山奈央子(2015)総合地球環境学研究所コアメンバ
ー会議, 共同研究員, 1回(2015年4月～2016年
3月)
平山奈央子(2015)NPO法人碧いびわ湖理事会 理
事, NPO法人碧いびわ湖, 4回(2015年10月～
2016年3月)
平山奈央子(2015)NPO法人 理事, NPO法人近畿環
境市民活動相互支援センター, 2回(2015年10月
～2016年3月)
平山奈央子(2015)マザーレイクフォーラム運営委員
会 委員, 滋賀県琵琶湖政策課, 1回(2015年4月
～2016年3月)
松本健一(2015)滋賀県高島市環境審議会, 副会長, 1
回(2015年4月～2016年3月).
松本健一(2015)高島市環境センター管理運営委員
会, 委員, 1回(2015年4月～2016年3月).
松本健一(2015)高島市環境センター在り方検討委員
会, 委員, 6回(2015年5月～2015年12月).
松本健一(2015)気候変動リスク情報創生プログラム
テーマB「安定化目標値設定に資する気候変動予測」
運営委員会, 委員, 1回(2015年4月～2016年3月).
村上一真(2015)長浜市環境審議会 会長, 長浜市環境
保全課, 1回(2015年4月～2016年3月).

2) 学会貢献

井手慎司(2015)環境システム計測制御学会評議員・
編集アドバイザー, 環境システム計測制御学会, 4
回(2015年4月～2016年3月)
小野奈々(2015)フォーラム現代社会学専門委員(関西
社会学会), 2013年10月1日～継続.
香川雄一(2015)人文地理学会, 選挙管理委員会, 1
回
高橋卓也(2015)水資源・環境学会, 理事, 5回(2015
年4月～2016年3月).
高橋卓也(2015)『水資源環境研究』編集委員会, 編
集委員, (インターネット上で業務に従事)(2015
年4月～2016年3月).
高橋卓也(2015)林業経済学会, 評議員, 1回(2015
年4月～2016年3月).
高橋卓也(2015)『林業経済研究』編集委員会, 編集
委員, 1回およびインターネット上で業務に従事
(2015年4月～2016年3月).
Takahashi, T. (2015) Corporate Social
Responsibility and Environmental Management

(John Wiley & Sons), Editorial Board Member,
(インターネット上で業務に従事)(2015年4月～
2016年3月).

高橋卓也(2015)総合地球環境学研究所共同研究員
(研究課題: 生物多様性が駆動する栄養循環と流域
圏社会-生態システムの健全性). (2015年9月～
2016年3月).

林宰司(2015)日本経済政策学会, 関西部会理事,
2015年度

松本健一(2015)環境科学会誌編集委員(2015年9月
～2016年3月).

松本健一(2015)Member of Editorial Board of
Global Security(2015年12月～2016年3月).

松本健一(2015)土木学会環境システム委員会委員・
論文編集小委員会委員(2015年4月～2016年3
月).

松本健一(2015)Member of Scientific Advisory Board
of 10th Dubrovnik Conference on Sustainable
Development of Energy, Water and Environment
Systems(2015年4月～10月).

松本健一(2015)Member of Scientific Advisory Board
of 11th Dubrovnik Conference on Sustainable
Development of Energy, Water and Environment
Systems(2015年11月～2016年3月).

松本健一(2015)Member of Scientific Advisory
Board of 2nd South East European Conference
on Sustainable Development of Energy, Water
and Environment Systems(2015年4月～2016
年3月).

3) 国際貢献・海外調査など

井手慎司(2015)Country report presentation,
JICA湖沼環境保全のための統合的流域管理コース,
財国際湖沼環境委員会, 財国際湖沼環境委員会,
2015年9月14日.

井手慎司(2015)Conservation and Citizen activities
for Environment, JICA湖沼環境保全のための統
合的流域管理コース, 財国際湖沼環境委員会, 財
国際湖沼環境委員会, 2015年9月17日.

井手慎司(2015)Introduction to Lake Modeling,
JICA湖沼環境保全のための統合的流域管理コース,
財国際湖沼環境委員会, 財国際湖沼環境委員会,
2015年10月2日.

井手慎司(2015)アクションプラン発表と講評, JICA
湖沼環境保全のための統合的流域管理コース, 財
国際湖沼環境委員会, 財国際湖沼環境委員会,
2015年11月5日.

香川雄一(2015)ベトナムでのラムサール条約登録湿

地調査, 2015年12月23日～12月29日.

上河原献二(2015)フランスにおける侵略的外来水辺植物管理制度の調査, 2015年9月13日～22日.

高橋卓也(2015)本学人間学科目「国際環境マネジメントI」学生引率および講義(インドネシア共和国ボゴール農科大学との共催, ボゴール市およびその周辺で実施), 2015年9月20日～2015年9月27日.

松本健一(2015)エネルギー安全保障分析に関する調査(イギリス), 2015年9月5～16日.

松本健一(2016)気候変動の社会経済側面に関する調査(アメリカ), 2016年2月7～11日.

松本健一(2015)ESCP Europeビジネススクール国際研究員(イギリス), 2015年4月～2016年3月

4) その他

小野奈々(2016)日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 全国よい仕事研究交流集会2016 コメンテーター (於: 明治大学, 東京都), 2016年2月28日.

林宰司(2015)特定非営利活動法人 地球環境市民会議, 理事, 2015年度.

13. マスメディアとの対応

1) 新聞, 雑誌等からの取材による記事

井手慎司(2015)外来魚のリリース, ゼロに 琵琶湖ルール改定案, 滋賀県に答申. 京都新聞, 2015年11月19日.

林宰司(2015)フィールドワーク心得帖 スマホ活用など内容更新 県立大教授ら編集, 発売. 京都新聞, 2015年7月3日.

3) その他

松本健一・立入郁・河宮未知生(2015)地球システムの応答にみられる不確実性は経済にどれほど影響するか(海洋研究開発機構より, 2015年4月8日)
http://www.jamstec.go.jp/j/about/press_release/20150408/

環境建築デザイン学科

1. 受賞

芦澤竜一(2015)第13回 環境・設備デザイン賞 優秀賞, 建築設備総合協会, セトレマリーナびわ湖

芦澤竜一(2015)FuturArc Green Leadership Award 2015, FutureArc, FACTORY IN THE EARTH

芦澤竜一(2015)第14回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール環境大臣賞, 公益財団法人 都市緑化機構, セトレマリーナびわ湖

芦澤竜一(2015)第14回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール審査員特別賞・壁面・特殊緑化部門, 公益財団法人 都市緑化機構, FACTORY IN THE EARTH

芦澤竜一(2015)ウッドデザイン賞2015ソーシャルデザイン部門, ウッドデザイン賞運営事務局, 風の音

芦澤竜一(2015)ウッドデザイン賞2015ハートフルデザイン部門, ウッドデザイン賞運営事務局, 風の音 建具バージョン

芦澤竜一(2015)BUILDING OF THE YEAR 2016, ARCHIDAILY, FACTORY IN THE EARTH

白井宏昌(2015)日本空間デザイン賞2015入選, Porsche Summer Summit 2014

園田正文(2015)2015年度グッドデザイン賞(素材・部材/生産・開発・製造技術/製造法), 日本デザイン振興会, 住宅構造用部材「古民家耐震パネル型面格子壁」, プロデューサー: 一般社団法人全国古民家再生協会, ディレクター・デザイナー: 高田豊文, 受賞番号15G070639.

陶器浩一(2015)(仮称)熊本県総合防災航空センター設計者選定プロポーザル 佳作: 熊本県(くまもとアートポリス)

ヒメネス ベルデホ ホアン ラモン, 布野修司(2015)2015年日本建築学会著作賞, 『グリッド都市—スペイン植民都市の起源形成, 変容, 転生』The grid City: The Origin, Formation and Transformation of Spanish Colonial Cities, Published by Kyoto University Press, February 2013.

松岡拓公雄(2015)日本建築家協会あかりコンペ入賞

松岡拓公雄(2015)赤れんがテラスグッドデザイン賞

2. 著書

伊丹清, 共著(2015)環境と防災性, 琵琶湖と環境～未来につなぐ自然と人の共生～, サンライズ出版, 2015年6月